令和８年度　並木学院福山高等学校　学校評価

１　ミッション

「建学の理念」

一人ひとりの能力を最大限に引き出し技術者として社会人として社会に貢献できる人材を養成する

２　ビジョン（使命の追及を通じて実現しようとする自校の将来像）

生徒の人格形成に取り組み、グローバル社会に対応できる人材を育成する学校

個別最適な学習に取り組み、確かな学力の定着を支援する学校

個性を尊重し、安心して高校生活が送れる学校

地域に密着した愛される学校

３　スクールポリシー

◆資質能力　育成方針（Graduation　Policy）

自分の個性や能力を理解し、自己肯定感を持って未来に向かう力

社会の一員としての責任を自覚し、職業的・社会的自立に向けて行動できる力

多様な価値観をもつ他者と協調するコミュニケーション力

◆教育課程　実施方針（Curriculum Policy）

本校のスクーリングは1教室20人以下で実施する少人数制

本校では、通信制課程普通科の柔軟性を活かしながら、通学型ならではの対面による学びを重視する

生徒一人ひとりの興味・関心や進路に応じて、楽しく意欲を持って学べる個別最適な学習機会を設け、主体的に学ぼうとする力を育成する

多くの学校行事により、他者と関わり合う機会を設け、コミュニケーション力を高める

◆入学者　受入方針（Adimission　Policy）

本校の教育理念や方針等に賛同・共感できる生徒

本校の学習システムを十分に理解し、その学習方法が自身に適している生徒

人とのつながりや新たな出会いを大切にしたいと考える生徒

4　取組内容

項目	今年度の重点目標		具体的な取組計画
1　学校運営	(1) 教育課程の検証		学習指導要領に則った適切な教科指導を進める
	(2) 教育計画の充実		通信教育実施計画に基づいて、面接指導・添削指導を適切に行う
	(3) 教職員間の情報共有と連携		教職員間の情報共有を密に行い、組織的な指導を進める
	(4) 情報公開	ア　積極的な情報発信	学校ホームページやＳＮＳを通して生徒の活躍を積極的に発信する
		イ　学校説明会の充実	説明会の内容を適宜見直して充実を図り、参加者の満足度を高める
		ウ　通信制教育の質の向上に係る教育内容の公開	通信教育実施計画や教育課程などの学校情報を適切に公開する
	(5) 危機管理		危機管理マニュアルを定期的に見直し、全教職員を対象とした研修を実施する
2　教育内容	(1) 個別最適な学びの実現	ア　ＩＣＴ機器を活用した指導	ＩＣＴ機器を利用した添削指導・面接指導を全ての教員が行う
		イ　学校設定科目の充実・精査	生徒のニーズに応じた学校設定科目を開講し、面接指導の内容の充実を図る
	(2) 教育体制	ア　探究的な学びの充実	総合的な探究の時間を始めとして、各科目の指導において生徒の探究的な学びを促す取組を進める
		イ　国際教育の充実	グローバルな価値観の育成につながる取組を推進する
		ウ　高大連携の充実	高大連携を通じて生徒の学習意欲を高め、進路意欲の醸成を図る
	(3) 特別活動の充実		生徒の体験的な学習の機会を設けるなど、特別活動の内容充実を図る
3　生徒支援	(1) 生徒指導の充実		積極的生徒指導を展開し、生徒の自己指導能力を高める
	(2) 学習指導・進路指導の充実		生徒の実態を適切に把握し、個に応じた学習指導や進路指導を充実させる
	(3) 特別支援教育の視点を踏まえた支援の充実		特別支援教育の視点を踏まえ、配慮が必要な生徒への適切な支援を組織的に行う
4　教職員の資質向上	(1) 研修体制の充実		・校内研修を定期的に開催する ・校外研修に教職員を計画的に参加させる
	(2) 自己研鑽		教職員が自己の課題を基に校内外の研修に参加するなど資質向上に努める
5　地域との連携	(1) 地域との協働活動		生徒に近隣地域と協働した活動への参加を促す
	(2) 福祉機関との連携		隣接する放課後等デイサービスに通所する生徒の情報を教職員間で共有する

並木学院福山高等学校　学校評価　アンケート（教員）

実施時期　令和８年10月19日～10月21日

人数　　10名（常勤）

〔４：よくあてはまる　３：ややあてはまる　２：あまりあてはまらない　１：まったくあてはまらない〕

分類	評価の観点	評価項目	番号	設問	2026.10月
学校運営	教育課程	適切な学習指導	1	学習指導要領に定められた教科指導を適切に行っている。	3.2
			2	学校の教育課程編成の意図や目標を理解している。	3.2
		教育計画	3	通信教育実施計画に基づいて面接指導・添削指導を行っている。	3.3
			4	面接指導のめあてを事前に定め、それを意識して面接指導に取り組んでいる。	3.1
	組織的対応	教員間の連携	5	教員間・教科間の相互理解に基づく教育活動を行っている。	3.3
			6	学校の教職員全体で生徒指導に取り組み、生徒の情報を共有している。	3.3
	情報公開	学校HP等の充実	7	学校HP等で公開する情報を点検・更新している。	2.5
		学校説明会の充実	8	説明内容を精選し、必要な情報を常に検証している。	3.0
		教育活動の情報公開	9	通信教育規程第14条第１項に掲げる教育活動や、自己点検の状況等をHPなどで公開している。	1.9
	危機管理	危機管理マニュアル	10	危機管理マニュアルを確認し、緊急事態発生時の教職員の動きや役割を理解している。	2.8
教育内容	個別最適な学び	ICT教育	11	コンピュータや通信ネットワークを活用した面接指導を行っている。	3.2
		学校設定科目	12	生徒の興味関心に応じた学校設定科目の面接指導、各種検定合格に向けての面接指導を行っている。	3.2
	教育体制	探究的な学びの充実	13	総合的な探究の時間だけでなく、各科目の指導において生徒の探究的な学びを促す取組をしている。	2.8
		国際教育の充実	14	国際的視野に立った思考力・判断力の醸成の機会を設けている。	2.5
		高大連携	15	高大連携を通じて体験的な学習、問題解決的な学習、生徒の興味関心を活かした自主的、自発的な学習を促している。	2.6
	特別活動	特別活動の充実	16	特別活動の実施内容は充実している。	3.2
			17	体験活動や野外研修など、学校行事は適切な管理体制下で行っている。	3.7
生徒支援	生徒指導	積極的生徒指導	18	積極的生徒指導を展開し、生徒の自己指導能力の育成を図っている。	2.9
	学習指導・進路指導	学習指導・進路指導の充実	19	生徒の実態に即した進路指導を行っている。	3.4
			20	各学年の進路指導計画を定め、計画的な進路指導を行っている。	3.3
	特別支援教育	配慮が必要な生徒への対応	21	学力不足や特別な支援が必要な生徒に、適切な学習指導を行っている。	3.4
			22	特別な支援が必要な生徒の情報を教職員で共有し、必要な対応を取っている。	3.4
教職員資質向上	自己研修	研修体制	23	校内外の研修に積極的に参加している。	2.8
		資質向上	24	業務遂行について管理職や経験豊富な先輩から必要に応じて助言を受けている。	3.5
			25	指導力向上のため、自己研鑽に努めている。	3.3
地域との連携	地域と協働	地域活動	26	生徒に近隣地域と協働した活動への参加を積極的に促した。	2.8
		福祉と教育	27	隣接する放課後等デイサービスに通所する本校の生徒の情報共有ができている。	3.2

並木学院福山高等学校　学校評価　アンケート(生徒)

実施時期　令和８年９月3日～９月14日

人数　251人

★次の各質問について、最も当てはまる数字を○で囲んでください。

［４：そう思う　３：どちらかといえばそう思う　２：どちらかといえばそう思わない　１：そう思わない］

番号	設問	2026.9月
1	学校生活は楽しい。	3.3
2	学校は落ち着いて学習できる環境である。	3.5
3	スクーリングは分かりやすい。	3.5
4	先生はスクーリングやレポートの分からない点を丁寧に教えてくれる。	3.6
5	相談や質問など、先生に話しやすい。	3.4
6	先生は学習で努力したことを認めてくれる。	3.5
7	学校生活のルールや生徒指導の内容は、納得できるものである。	3.6
8	学校は、卒業後の進路についての情報をよく知らせてくれる。	3.5
9	先生は、卒業後の進路について丁寧に相談に乗ってくれる。	3.6
10	並木学院福山高等学校の入学前の説明は分かりやすかった。	3.5
11	学校のホームページやさくら連絡網などで必要な情報は得ることができる。	3.7
12	学校は、施設・設備について、学習環境の改善に努めている。	3.5
13	学校は緊急事態に備えて、生徒の安全に注意を払っている。	3.6
14	受けたい検定の受検や、興味のある科目が受講できている。	3.5
15	国際社会について学んだり、海外の文化について考えたりする機会がある。	3.1
16	パソコンなどのICT機器活用能力について学ぶ機会がある。	3.3
17	大学や専門学校と連携して学ぶことができる。	3.4
18	特別活動（学校行事等）の内容が充実している。	3.5
19	地域と連携して活動する機会がある。	3.0
20	学校は特別な支援・配慮が必要な生徒に、丁寧に対応している。	3.5
21	学校は生徒のプライバシーを守っている。	3.7
22	この学校は他の通信制高校にはない特徴を持っている。	3.5
23	この学校で学ぶことができてよかった。	3.7

並木学院福山高等学校　学校評価　アンケート（保護者）

実施時期　令和８年９月３日～９月14日
人数　255人

★次の各質問について、最も当てはまる数字を○で囲んでください。
〔４：そう思う　３：どちらかといえばそう思う　２：どちらかといえばそう思わない　１：そう思わない〕

番号	設問	2026.9月
1	お子さんは、学校生活が楽しそうである。	3.2
2	お子さんにとって、学校は落ち着いて学習できる環境である。	3.6
3	お子さんは、学校の授業は分かりやすいと言っている。	3.2
4	教員は、生徒を理解し、親身になって指導している。	3.5
5	教員は、生徒の評価を適切・公平に行っている。	3.6
6	学校は、保護者の相談に適切に応じている。	3.6
7	学校生活のルールや生徒指導の内容は、納得できるものである。	3.7
8	学校は、卒業後の進路についての情報をよく知らせてくれる。	3.3
9	教員は、卒業後の進路について丁寧に相談に乗ってくれる。	3.4
10	並木学院福山高等学校の入学前の説明は分かりやすかった。	3.6
11	学校のホームページやさくら連絡網などで必要な情報は得ることができる。	3.7
12	学校は、施設・設備について、学習環境の改善に努めている。	3.4
13	学校は緊急事態に備えて、生徒の安全に注意を払っている。	3.5
14	受けたい検定の受検や、興味のある科目が受講できている。	3.4
15	学校は、国際社会や海外の文化についての学びの時間を設けている。	3.3
16	学校は、パソコンなどのICT機器活用能力について学ぶ時間を設けている。	3.4
17	大学や専門学校と連携して学ぶことができる。	3.2
18	特別活動（学校行事等）の内容が充実している。	3.4
19	地域と連携して活動する機会がある。	2.7
20	学校は特別な支援・配慮が必要な生徒に、丁寧に対応している。	3.4
21	学校は生徒のプライバシーを守っている。	3.6
22	この学校は他の通信制高校にはない特徴を持っている。	3.5
23	この学校で学ぶことができてよかった。	3.7